

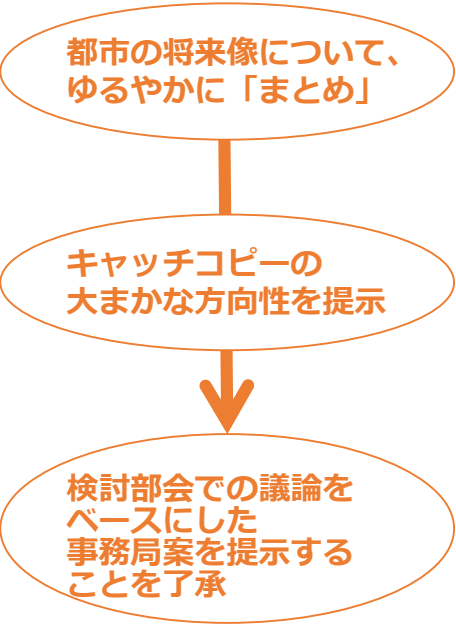
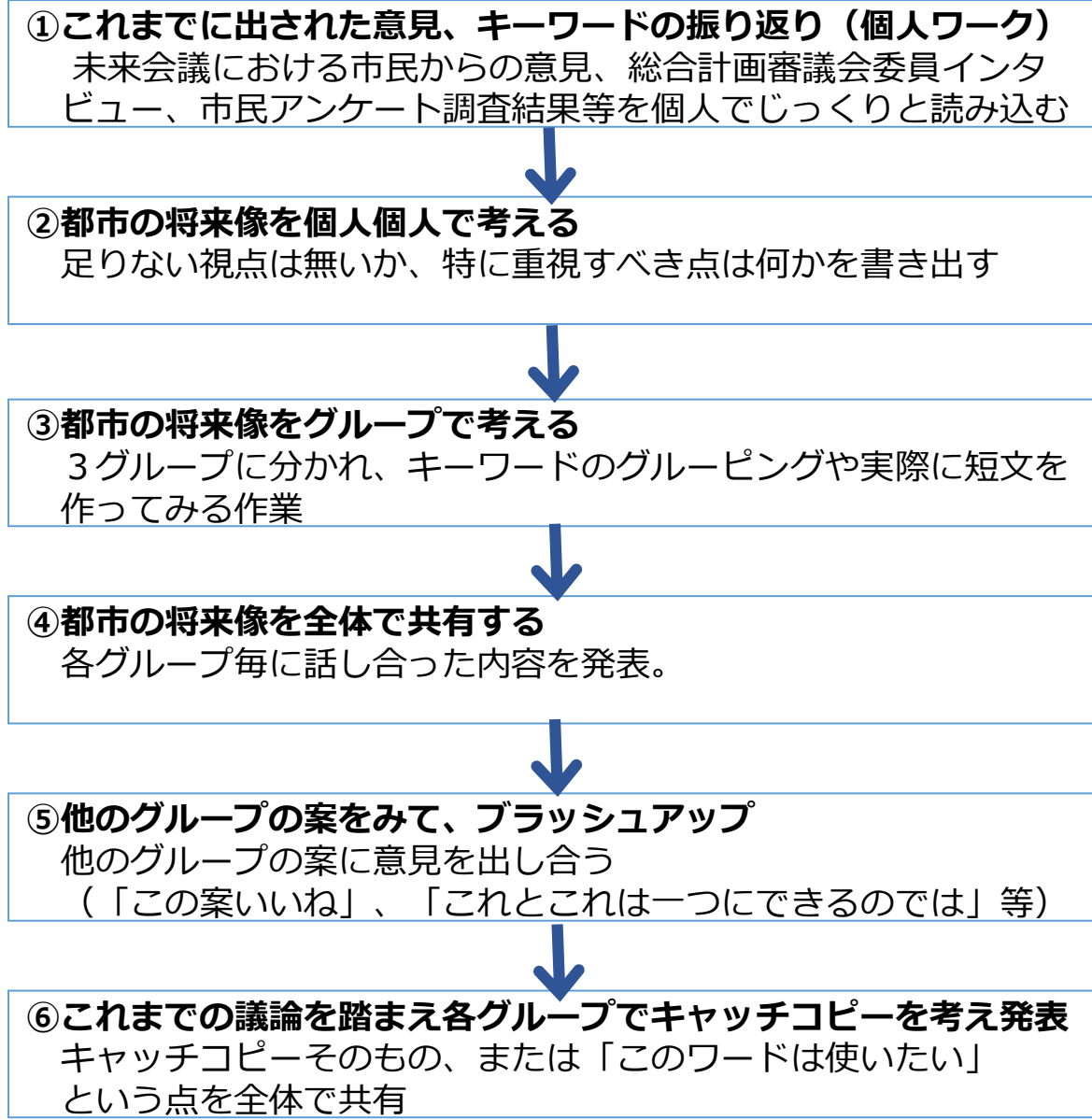
1. 部会の概要

都市の将来像（基本理念）の原案を検討するため、作業部会となる当該部会をワークショップ形式により3回開催した。

- 開催日時 | 平成29年3月14日（火）、3月23日（木）、4月6日（木）
- 参加者 | 【総合計画審議会委員】 伊藤則義委員、佐藤香奈子委員（ひとづくり・まちづくり部会）
阿部秀徳委員、村上淳子委員（産業交流部会）
阿部直善委員（部会長）、武田真理子委員（市民生活部会）

および 酒田市総合計画策定作業班
（プロジェクトチームメンバー）

2. 都市の将来像検討の流れ



6ページ 事務局とりまとめ案へ

2～5ページ 各グループ案参照

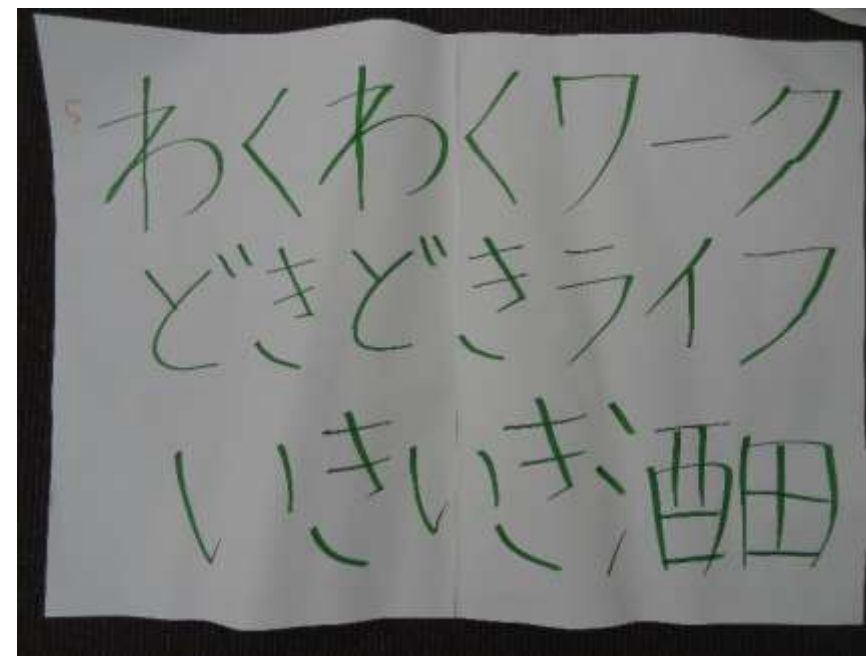
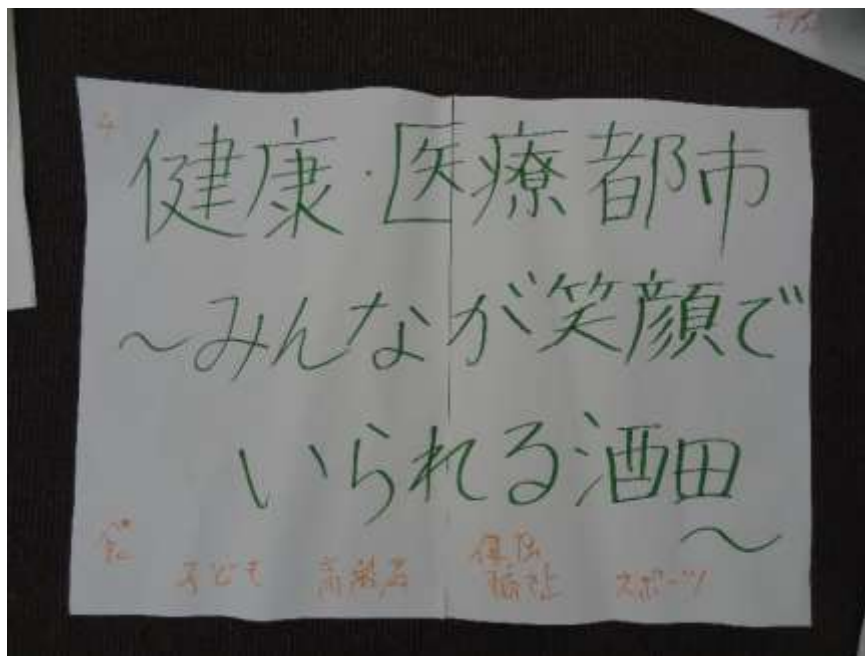
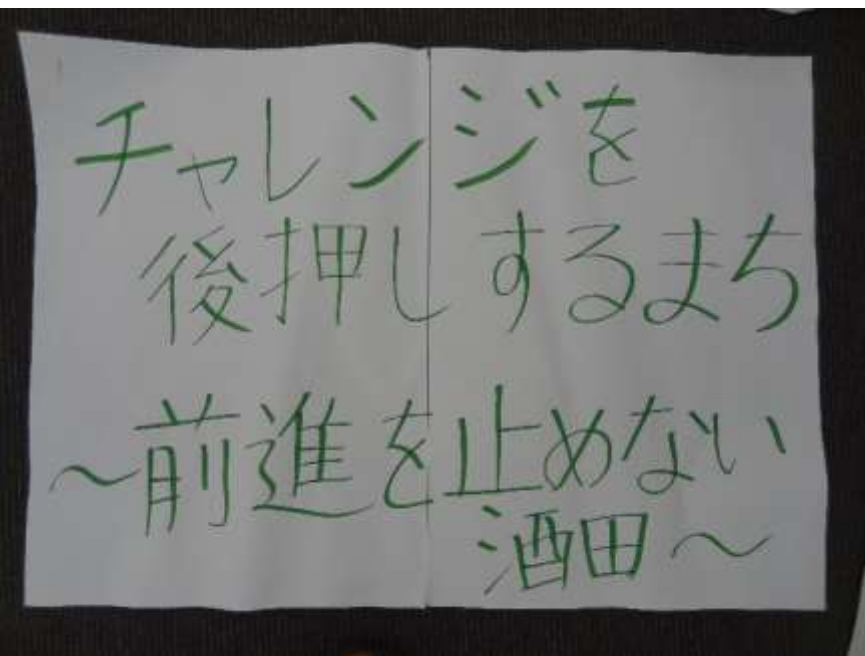
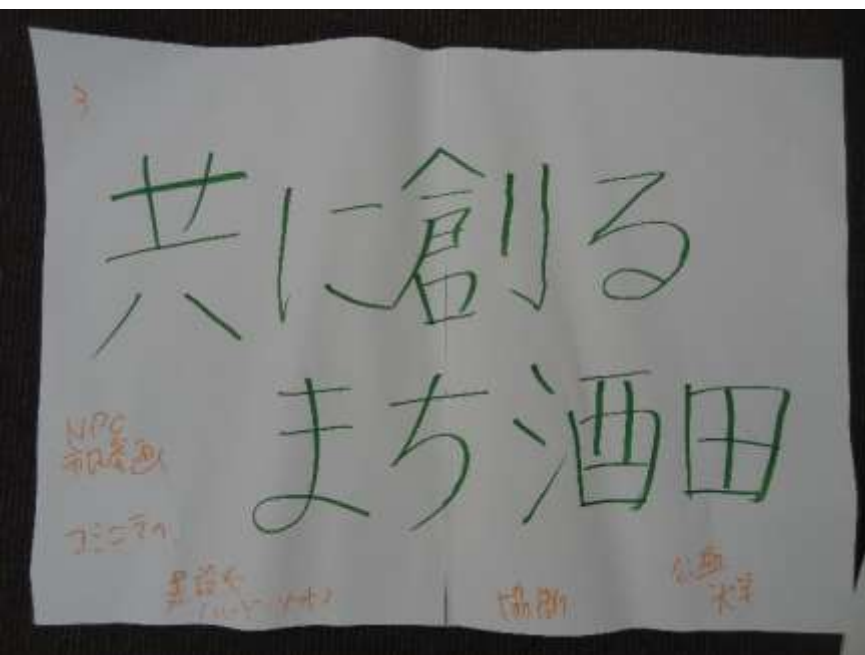
酒田港で発展する
産業都市のまち

多様性を
受け入れ、活かし
みなと挑戦
し続けるまち

誰もが健康でみなと
住み続けられるまち

みなとともに誇る
築かれてきたまち

みなと対話し
ともにつくりあげていく
まち



おら犬の街は
おら犬が創る

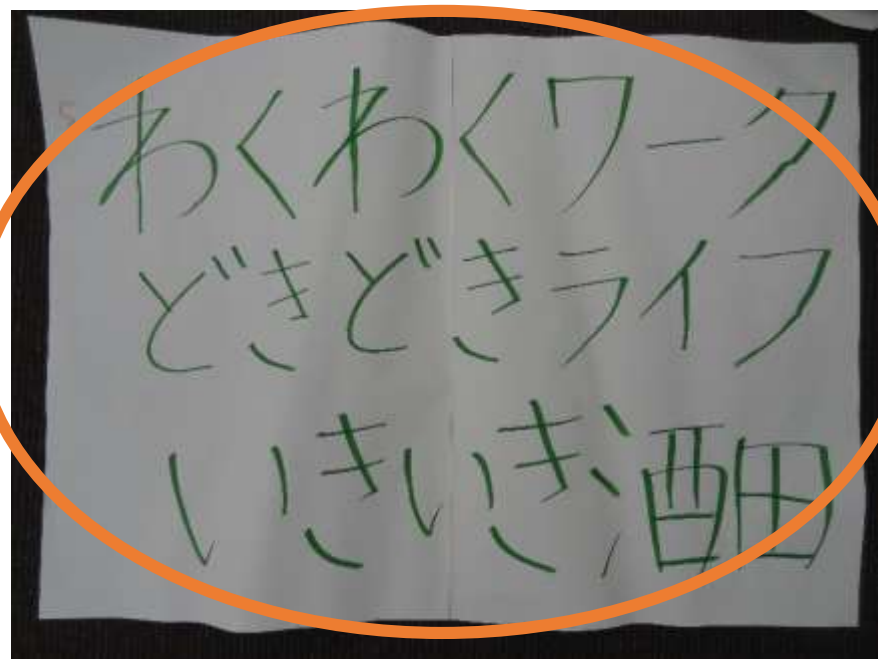
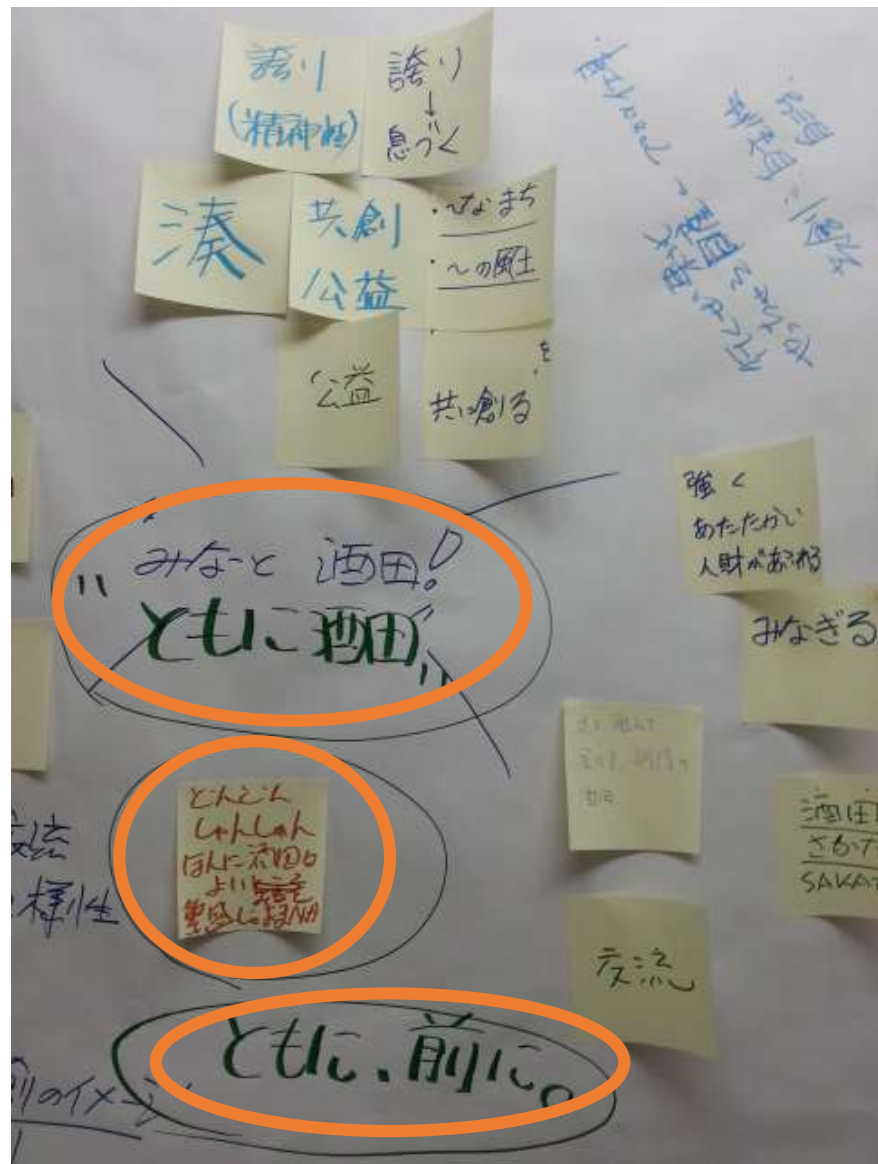
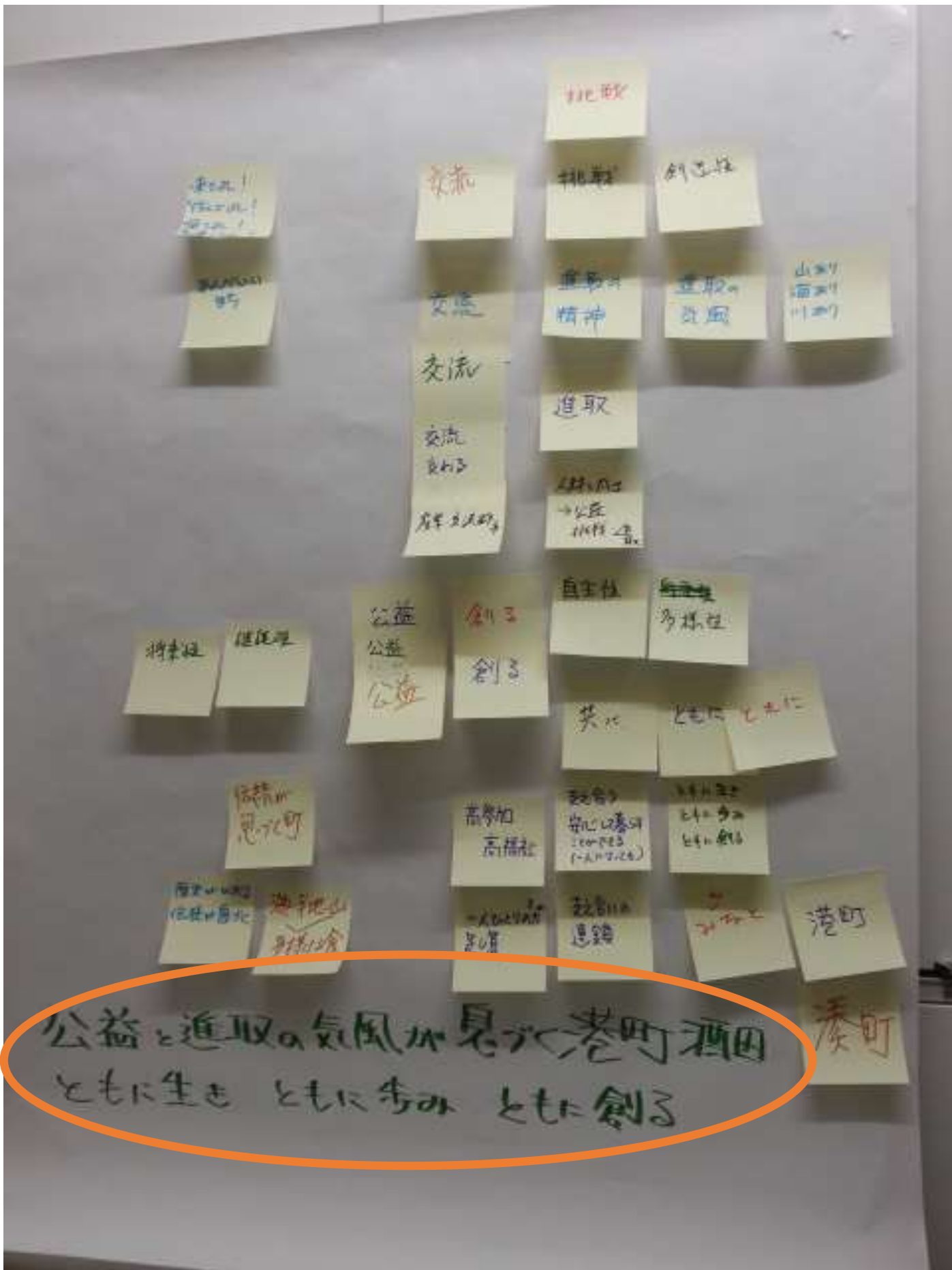
～多様な市民が参画しつづる
公益のまち酒田～

空と海の港が
アタタの挑戦を応援する街
酒田

～今よみがえる江戸の心算を～
(36人案)

想い合い 育み合う
まち 酒田

～



都市の将来像（めざすまちの姿）【事務局とりまとめ案】

案1	案1'	案2
<p>果敢にチャレンジできる 産業交流の盛んな港（湊）まち (キーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者など多様な価値観のたくさんの人を受け入れることができる市民 ・新しいことにチャレンジできる環境 ・酒田の全ての産業活性化 ・酒田港や酒田の観光資源を生かしたヒト・モノの交流 ・現代の船の発着場 → 港 港の語源・・・船着き場 クルーズ船、イカ釣り船団、コンテナ船で賑わう現代の港、ヒトとモノの交流を表現 ・歴史的に受け継いできた「みなと」を表現 → 湊 湊の語源・・・水上に人や物が集まる場 日本遺産に認定された北前船寄港地・船主集落に代表される受け継がれてきた湊町を表現 	<p>同 左</p>	<p>ともに創る公益のまち酒田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのグループからも「ともに」「つくる」を使ったビジョン案が出てきていた。 ・「ともに」市民参画、住民自治、行政と市民との対話、協働を進めていくことを強く打ち出そうとするもの。（全てのジャンルに共通？） ・「創る」からは、新たに産み出すニュアンスが感じられ、使いたいメッセージとして多く出された「チャレンジ」や「創業」といったメッセージも包含。 ・公益大が提唱する「地域共創」「公益」の考え方も包含しており、酒田のオリジナリティが出せているものと思われる。
<p>五感をもてなす感動のまち (キーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこにも負けない酒田の資源 (美しい風景や自然の音・香り、豊かな食の味に香り、自然や伝統文化、人のぬくもり・・・) ・そんな酒田の宝をだれもが誇れる市民、訪れた人を感動させる市民のもてなし ・酒田愛、次代に引き継ぐ酒田の宝 ・積極的なシティプロモーション 	<p>同 左</p>	<p>湊に育まれた進取の産業・交流都市酒田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業、交流、賑わいは入れるべき ・また、多く出された意見「チャレンジ」、「挑戦」といったワードを「進取」と表現した。 ・どのグループからも「港（湊、みなと）」は使うべきという意見。 ・「湊」としたのは、歴史、文化的な要素を表現したかったから。
<p>対話を通した市民の参加があふれるまち (キーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加 ・36人衆から受け継ぐ住民自治、進取の気風 ・自分事(当事者意識)、主体性 (押し付けられたものではない) ・自分たちのまちは自分たちがつくる 	<p>同 左</p>	
<p>誰もがいきいきと暮らし 「住み続けたい」と思えるまち (キーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな人も(多様性)自分らしく ・酒田を愛する市民が酒田に住み続けられる ・地域住民や専門職など多様な主体の連携による支え合い ・防災、衛生、美化等の活動などの市民の支え合い 	<p>同 左</p>	<p>みんなが笑顔で、 「住み続けたい」と思える酒田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで、誰もがそれぞれの暮らしを快適に送ることができるまちに。 ・「健康」「医療」という案もあったが、「健康で無い人への配慮を」との意見もあり、「笑顔」という表現とした。 ・「住み続けたい」という状態になるためには、当然ながら酒田を好きになる、郷土愛がなければ実現しない。 ・「みんな」⇒歴史的に「多様性」を受け入れてきた土地柄であるという意味も包含。
<p>〇どんどんしゃんしゃん 賑わいも暮らしやすさも共に創る (ともにつくる) 公益のまち酒田</p>	<p>〇公益と進取の気風が息づく港町酒田 ともに生き ともに歩み ともに創る</p>	<p>〇どんどんしゃんしゃん、ほんまに 酒田はよい湊 〇わくわく、どきどき、いきいき酒田 〇みなと！酒田（「港」「皆と」） 〇ともに酒田</p>